

視察研修&根浜海岸清掃実施

10月13日(土)連合花巻北上地協では震災から7年7ヶ月が経過した沿岸被災地の視察研修会を参加者22名のもと開催致しました。



最初の視察場所は、町長他39人が犠牲となり、震災遺構として保存か、解体かでもめ、且つ解体が決定した後、事務処理等の問題で解体が延期となっている旧大槌町役場で献花と焼香し各自現状を視察。

続いて来年のラグビーワールドカップ会場「復興スタジアム」を見学。会場ではこのボランティアスタッフとして登録している及川議長より、芝生(ハイブリッド芝)の説明や会場のイス等使用されている木材が地元産であること等ご説明頂きました。



この後、根浜海岸に移動しクリーンキャンペーンの一環としての清掃活動を実施。海洋汚染の問題となっているプラスチックごみの多さに改めて環境問題を感じる事ができました。

お昼は宝来館にて頂きましたが、冒頭女将の岩崎様より清掃活動のお礼と、震災後の復興状況報告等のお話を伺うことが出来ました。

午後は、釜石駅に移動し、ここから三陸鉄道の「震災学習列車」で大船渡の盛駅まで移動。この列車には関東方面で放映されるテレビカメラスタッフも乗車し、我々がガイドの説明を受けている姿を収録いただきました。

この研修会最後には「キャッセン大船渡」でのショッピングを開催。少しでも我々がお金を使うことで地元の復興につながることを願い、それぞれ買い物と復興状況を確認。気仙地協 星事務局長のお出迎えも頂き、我々が帰る際には、ご挨拶と被災地の現状等をお話しいただき、帰路へつきました。

